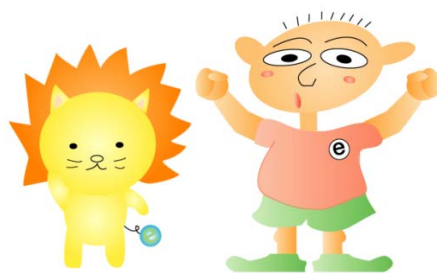


自分が何をしたら良いのかわからないモヤモヤした世界に生きてきた娘の扉を開けてくれた。

氏名	1
学校	蜷塚中学校
学年	3年



お母さん

今日の面談は大変ためになったと思います。

娘は、これまで、本当に自分が何をしたら良いのかわからないモヤモヤした世界に生きていて、誰も扉を開けて光を射し込んでくれるような相手に出会って来なかったのだと思います。

当然、親も学校の先生方も、手を差し伸べようとして努力して来たわけですが、それは娘の扉を叩きこじらなっていました。

ようやく中学生としてのあひびき姿が見えて来ようと思います。

これからが楽しみです。

学校名 蜷塚中学 学年 3

名前



記入者

どちらかに〇をつけてください。

本人 (母)・父